あすの時代を創るパートナーです

ＪＴＢ商事

池田社長

新築・改装コンサル、調度品の提案

旅館・ホテルの新築、増築、改築計画のトータルコンサルティングから、備品、消耗品の提案まで行うＪＴＢ商事。同社の池田浩社長は、環境問題が課題となり、「宿泊施設の魅力向上と経営効率向上のために、あらゆる角度から手伝いさせていただいている。日頃より、このワンストップサービスをご利用いただき、深く感謝している。営業社員が、皆さまの課題や要望を深く理解し、関係各社や仕入先と共に価値のある提案をしていく。」と話す。

近年、同社が取り組んでいるのが、環境配慮商品の開発だ。地球規模の問題となり、「環境配慮商品」として展開していた「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」で採択されたＳＤＧｓへの貢献と環境配慮を発信したところ既に多くの企業からの問い合わせがあるという。

同社では、今後も「エコソリューション」と「エコノミー」の両立を目指した商品開発と、業界に向けた情報発信を継続していく。

アメニティは、ハブラシ、コーム、ブラシ、ランドリーバッグなどをラインアップ。加えて、植物由来のコットン、綿棒やポーチ、ディタオルを「環境配慮型アメニティ」と位置づけ、30％程度プラスチックの代替素材の石灰石を主原料とした「ＬＩＭＥＸ」素材の製品を開発。業界に向けた「ＬＩＭＥＸ」素材の発信を継続していく。

宿泊施設の魅力向上を手伝う

■企業情報

本　社	東京都中野区本町２の46の１　中野坂上サンプライトツイン13階
創　業	1971年2月
事業内容	新築、改装のコンサルティングから調度品、消耗品の提案、海外・国内土産、カタログ式ギフトの販売など。
資本金	１億円　　従業員　625人（2019年６月現在）

2020年は、環境にも「おもてなし」の逸品を。
（2020年2月上旬予定）

LIMEX × JTB商事

JTB商事は循環型社会への移行を目指し今後さらにエコ商材の提供など環境配慮型製品の創出へ取り組んでいきます。

※LIMEX（ライメックス）は、TBM社が自社開発した石灰石を主原料に紙・プラスチックの代替となる日本発の新素材です。

資料請求、お問い合せはお近くのJTB商事まで

【北海道営業部】
● 札幌営業所 ☎011(271)6777
【東北営業部】
● 盛岡営業所 ☎019(651)8001
● 仙台営業所 ☎022(728)2174
● 郡山営業所 ☎024(991)5752
【東日本営業部】
● 高崎営業所 ☎027(310)1203
● 新潟分室 ☎025(225)1443
● 宇都宮営業所 ☎028(621)2072
● 千葉営業所 ☎043(254)0082
● 甲府営業所 ☎055(232)6588
● 熱海営業所 ☎0557(83)2137
【中部営業部】
● 名古屋営業所 ☎052(228)7030
● 三重分室 ☎0596(29)1131
● ひだ営業所 ☎0577(36)5230
● 静岡営業所 ☎054(281)0661
● 金沢営業所 ☎076(232)2621
【西日本営業部】
● 堺西第一営業所 ☎06(6445)5250
● 関西第二営業所 ☎06(6445)5230
● 北近畿営業所 ☎0796(26)8578
● 京都営業所 ☎075(241)3341
● 岡山営業所 ☎086(223)5000
● 米子営業所 ☎0859(22)6138
● 広島営業所 ☎082(244)7271
● 高松営業所 ☎087(821)2836
● 松山分室 ☎089(987)3180
【九州営業部】
● 福岡営業所 ☎092(291)8090
● 別府営業所 ☎0977(24)5113
● 鹿児島営業所 ☎099(223)3525
【首都圏ホール事業部】
● 首都圏第一営業所 ☎03(6832)4671
● 首都圏第二営業所 ☎03(6832)4672
● 首都圏第三営業所 ☎03(6832)4673
● 首都圏東営業所 ☎03(6832)4674
● 沖縄営業所 ☎098(963)9094
● 営業開発課 ☎03(6832)4660

JTB商事　旅館ホテル商事部
東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンプライトツイン12階　〒164-0012
TEL.03(6832)4710 FAX.03(6832)4810 http://www.jtbtrading.co.jp/

PROSPE プロスペ！ http://prospe.net/

新日本コンピュータサービス

伊原社長

旅館・ホテル専用コンピューター

新日本コンピュータサービスは、旅館・ホテル専用のコンピューターシステム開発に携わり40年以上のキャリアを誇る。システム開発、販売、アフターフォローを一貫して行う製販一体制を構築。ユーザーから「旅館・ホテルの実情を考えた使いやすいシステム」と好評だ。同社の伊原成美社長にＰＭＳ（旅館・ホテル管理システム）「フューチャーＶ」をはじめとする同社製品の内容、今年の方針を聞いた。

◇　◇

――2019年を振り返ると。

伊原　10月の消費税率変更と、それに伴う軽減税率導入への対応。ユーザーに支障がないよう、早いうちから準備を進めてきた。ゴールデンウイーク明けにユーザーからの問い合わせが増え、当社の方で対応をしたのだが、これを機会にシステムを入れ替えたり、バージョンアップしたいというユーザーからの要望も多かった。

システムを入れ替えたいというユーザーには、当社の最新システム「フューチャーＶ」をお薦めした。

――フューチャーＶの特長は。

伊原　従来に増して、使いやすい構成にしている。例えば予約管理の画面は紙の台帳に近いイメージにしており、今まで紙の台帳を使っていたユーザーも運用感なく対応できる。客室や宴会場、食事ところの日々の空室状況を一つの画面で見られるのも特長だ。予約を受ける際、客室の画面、宴会場の画面と、いちいち切り替える必要がない。

ユーザーからは、オプション関係が充実したともいわれる。例えばタブレット端末を使った宴会場での飲み物の追加オーダーへの対応。端末にその場で入力することで、伝票の作成や会計時の手間、ミスを軽減できる。

――ほかの主力商品は。

伊原　「フロントシステムスマート」「フロントシステムＢＩ－ＺＩ」は